

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
I Tスペシャリスト科 システム専攻/モバイルアプリ専攻											
システム開発グループ演習 1											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	高橋			実務経験	有	職種	システムコンサルタント				
授業概要											
提示されたプロジェクト課題をもとに、プロジェクトの立ち上げから実行テストおよびプレゼンテーションまで、システム開発の一連のプロセスをグループワークで実体験する。											
到達目標											
システム開発の各工程の役割と工程間の連携の重要性を理解し、システム開発の各工程に必要な作業と成果物を説明できることを目標とする。また、開発に必要な報告・連絡・相談を実践でき、チームの一員として割り当てられた役割を遂行する。スケジュール管理の重要性を知り、自分の進捗が管理できることを目指す。											
授業方法											
統合開発環境のEclipseを使用し、宅配ピザの注文管理システムを作成する。授業はグループで協力しながら作業を進めて、仮想顧客の要望を満たすシステムを開発する。グループ演習においては、ソフトウェア開発工程のうち、ソフトウェア詳細設計以降の作業を行う。ソフトウェア開発の各工程を経験し、開発したシステムの納品・プレゼン（報告会）を行い評価する。											
成績評価方法											
作品の内容や完成度、中間発表や最終発表の内容、グループ作業の状況などを総合的に評価する											
履修上の注意											
授業はグループで協力しながら作業を進めるため、遅刻・欠席をする場合は他のメンバーに迷惑をかけてしまうことを念頭に入れること。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、他のメンバーに連絡を取って全体の作業に遅延を生じないようにすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価の対象とならない。前提知識：JavaプログラミングとSQLの基礎レベルが学習済みであること。											
教科書教材											
Javaシステム開発演習教材											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス（スケジュールの把握、チーム、役割分担などを決める）										
第2回	仕様の理解（仮想顧客からの要望を聞いて、宅配ピザの注文管理システムの仕様についてまとめる）										
第3回	データベース連携(1)（データベース連携の仕組みを理解する（JDBC:JavaDataBase Connectivity））										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
I Tスペシャリスト科 システム専攻/モバイルアプリ専攻	
システム開発グループ演習 1	
第4回	データベース連携(2) (JDBCを利用したデータベースアクセスができる)
第5回	更新系SQLの実行 (更新系SQLの実行ができる (INSERT文、UPDATE文、DELETE文))
第6回	デザインパターンの導入 (DAOとDTOを連携したJavaプログラムを作成できる)
第7回	オブジェクト指向開発入門 (オブジェクト指向による開発手法を理解して説明できる)
第8回	要件定義のダイアグラム (ユースケース図、ユースケース記述、シナリオの作成ができる)
第9回	オブジェクト指向分析(1) (オブジェクトの抽出、クラス図、オブジェクト図、シーケンス図の作成ができる)
第10回	オブジェクト指向分析(2) (コミュニケーション図、ステートマシン図、アクティビティ図の作成ができる)
第11回	コーディング、レビュー(1) (ソフトウェアの作成 (更新) ができ、それらをレビューすることができる)
第12回	コーディング、レビュー(2) (ソフトウェアの作成 (更新) ができ、それらをレビューすることができる)
第13回	コーディング、単体テスト (ソフトウェアの作成 (更新) ができ、それらの単体テストができる)
第14回	結合テスト、適格性確認テスト (結合テスト仕様書や適確性確認テスト仕様書に沿ったテスト項目を実施できる)
第15回	振り返り、成果発表会 (システム開発を振り返り、グループ演習で得た成果や反省点を発表し共有する)